

論文審査の要旨  
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (教育学)	氏名 Author	ARIF HIDAYAT
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論文題目 Title of Dissertation Development of the Instrument to Measure Technological Pedagogical Content Knowledge (TPACK) of Pre-Service Science Teacher in Indonesia			
論文審査担当者 Dissertation Committee Member			
主 査 Committee Chair	広島大学大学院国際協力研究科	教授	清水 欽也 印 Seal
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	教授	馬場 卓也
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	准教授	中矢 礼美
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	准教授	牧 貴愛
審査委員 Committee	広島大学	名誉教授	池田 秀雄
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本論文は、インドネシア共和国（以下インドネシアとする）の教員養成段階における技術的教授学的内容知識（Technological Pedagogical Content Knowledge: TPACK）の測定方法を開発する研究である。</p> <p>1 章では問題の所在を明らかにし、近年注目が集まりつつある教授学的内容知識について、インドネシアにおいて教員養成段階での測定方法が開発されていないことが明らかにされた。2 章では先行研究をまとめ、技術的知識、教授学的知識、内容的知識、技術内容知識、技術的教授的知識、教授学的内容知識等整理を行いその重要性について述べた。3 章では、現時点でその測定方法について検討した。過去の先行研究から7要素について、28因子116項目からなる質問紙を用意し、1628人の教員に調査し、探索的因子分析と確認的因子分析を用いて構成概念妥当性を検証することとした。第4章においては収集されたデータを元に49項目は妥当性が得られず、67項目については妥当性が認められる測定質問紙が成立したことが報告された。この結果に基づいて5章においては、これらの測定方法によって検出される TPACK の問題は、将来の教員となる養成段階の学生に重要な影響を与えられるものと思われ、より妥当な測定方法が検討されることが求められると提言した。</p> <p>以上のような内容を持つ本論文は、インドネシアの理科教員養成に対する新たな知見を提供する有意義な研究と評価され、本論文の著者は博士（教育学）の学位を授与される十分な資格があると認められる。</p>			